

世界に水を安定供給する高性能技術

大成機工は、日本で頻発する強い地震に耐えられるよう設計された革新的な製品を通じて、世界中で水の供給を維持する製品を供給するマーケットリーダーである。

【引用】

「パリのセーヌ川右岸の水道工事現場でヤノ・ストッパーが使用されるなど、当社の優れた製品の多くは世界各地で採用されています。」

- 大成機工株式会社 代表取締役社長 鈴木仁

【記事内容】

地震大国である日本の中小企業は、激しい地震に対応するための革新的なソリューションを求めることで、インフラ技術の世界的リーダーとなった。大成機工は、80年にわたる上下水道・ガスシステムに携わってきた経験を生かして、過酷な条件に耐える高性能な製品を開発してきた。

同社は特殊な工具を使わずに迅速かつ簡単に取り付けられる、耐震補強金具を開発した。この金具は、断水することなく既存の水道管路の耐震性を向上させることができ、お客様のコスト削減にもつながる。また、本製品は公共放送NHKの海外向け報道番組でも紹介されたほか、日本政府主催の『インフラメンテナンス大賞』を受賞した。「人々の生活には、常に水が供給されていることが重要です。そのためには、地震の被害を防ぐための技術を向上させなければなりません。これが当社の第一の使命です」と大成機工の鈴木社長は語る。

大成機工の耐久性の高い製品は、地震の多い地域だけでなく、埋立地や交通量の多い場所など、地盤が軟弱になりやすい場所でも活躍している。日本では、水道管の破損や水漏れを防ぐため、配管に接続したまま屈曲できる「タイ・フレックス」継手が使用されている。大成機工の革新的な製品を採用することで、より多くの地域で水の安定供給に貢献していきたいと鈴木氏は考えている。

大成機工は1941年の創業以来、顧客のニーズに基づいた製品と工法を創

造するという戦略を貫いてきた。ヤノ・ストッパーは顧客が断水することなく、配管の交換や水漏れの対応を行うことができるという、まさにその実践例である。現在、フランスとイギリスで使用されている。イギリスでは水道事業者がメンテナンス作業中に水道のサービスを停止した場合に課され得る罰金を回避することにも役立っている。

顧客の要望に応えられるような製品の研究・開発に努めることで、大成機工では平均して18カ月ごとに新製品を販売している。

大成機工は、オーストリアの企業と50年以上にわたって技術や情報交換を行い、アメリカに技術を輸出して現地のエンジニアが製品を現地生産できるようにするなど、すでに世界各国の企業と提携している。また、工場（兵庫県）に海外の企業が訪れる際には、機材を貸し出してトレーニングを提供するなどの協力関係を築いている。大成機工は米国、欧州、アジアで有効な特許を取得しており、鈴木氏は、同社は常に海外のパートナーを探しているという。特に、中国など近代的なインフラシステムを構築中の国や、オーストラリアや地震の多い環太平洋地域の国々である。

大成機工は、革新的なインフラ・ソリューションを提供することで、大地震の際にも日本の水道を安定供給することに貢献してきた。また、これらの画期的な製品は、世界中の人々の最も重要なニーズを満たすために役立っている。

【製品写真の説明文】

大成機工を代表する製品、「ヤノ・ストッパー」と「タイ・フレックス」